

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化 ③ 半導体産業に対する支援

国への提案事項

国内の半導体関連産業の国際競争力維持・向上と、経済安全保障の観点から、
・最先端技術に係る研究開発と生産設備への継続的な投資、
・製造装置・素材メーカーを含めたサプライチェーンの確保・強靱化、
・将来にわたり安定的に事業を継続できる環境整備(半導体産業エコシステムの構築)、
が必要不可欠であることから、次の対策を講じること。

1 国際競争力強化のための研究開発・投資に対する手厚い支援

- ①国際競争力強化のための研究開発・生産設備への投資(EUV露光装置を含む)を行う民間企業に対し、手厚い支援を行うこと。
- ②高圧ガス保安法等の規制について、国際基準・規格を活用し、簡素化・緩和を図ること。
- ③用地・工業用水・電力等を安定的かつ安価に供給できる環境整備に向けた支援や対策を実施すること。
特に電力については、燃料価格の高騰等により電気料金が急激に上昇しており、事業活動に大きな影響を与えていることから、電気料金の引き下げにつながる政策を速やかに検討・実施すること。

2 半導体産業エコシステムの構築

- ①最先端メモリー半導体メーカーである「マイクロンメモリジャパン社」を中心として、製造装置・素材メーカーを誘致するなど拠点の集約化を図るとともに、これら企業等に対して集中的に支援を行うこと。
- ②広島大学など半導体研究施設を持つ大学の定員増加を行うとともに、半導体人材育成に係る地方公共団体や大学、高等専門学校などの取組みへの支援を行うこと。
- ③経済安全保障の観点から半導体に関する日米大学の研究開発連携への支援を行うこと。

【提案先省庁:経済産業省, 文部科学省】

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(4) 産業競争力の強化

③ 半導体産業に対する支援

現状／国の取組状況等

- 国は、半導体・デジタル産業戦略(令和3年6月)を策定。
- 令和3年度補正予算において、先端半導体生産基盤整備基金として6,170億円、サプライチェーン上不可欠性の高い半導体の生産設備に対して、470億円を措置。
- マイクロンメモリジャパン広島工場は、世界のDRAMの約8%を生産し、研究開発機能から生産まで一貫した施設を有する貴重な拠点。

目指す姿

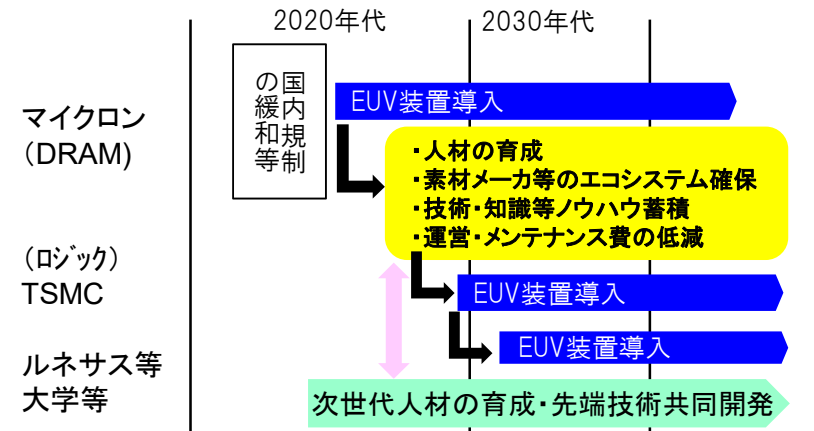
- 産学官が連携したエコシステムの構築が必要である。



課題

- 最先端半導体製造のためには、EUV露光装置の国内導入が不可欠であり、それに向けた環境整備(運営メンテナンス費用:約100億円/台の低減等)が必要である。

<EUV露光装置導入に向けたロードマップ>



- 本県には、国内唯一の最先端メモリー半導体(DRAM)工場に加え、パワー半導体《三菱電機》やロジック《シャープ》の工場があり、半導体産業の国際競争力維持など基盤強化のためにも、規制緩和、安価な用地・工業用水・電力等の確保、人材育成などに積極的投資が必要である。